

100周年記念式典

祝 辞

上智大学 学長
滝 澤 正

経済学部創設100周年、誠におめでとうございます。100年という長い年月でありまして、その歴史と発展を支えてこられた皆様、先生方、卒業生の方々、学生の父母の方々、さらにはこれから発展を担っていく現役の学生諸君、その他関係する様々な方がこれまで果たしてこられた役割と努力に敬意を表したいと思います。

ご存じのように本年は、上智大学全体にとりましても創立100周年という記念すべき年であります。経済学部と上智大学が同時に100周年を祝うということは、経済学部は最も伝統ある学部で、上智大学の原点にあるということの意味しています。現在の上智大学は8学部を擁し、来年4月から総合グローバル学部が加わり9学部から構成される総合大学ですが、創設当初は哲学科、ドイツ文学科、そして商科しかありませんでした。第二次世界大戦後に新制大学として発足した時も、文学部と経済学部の2学部からスタートしました。

今日では上智大学も大いに発展して、多数の学部から構成されておりますが、商科の流れをくむ経済学部は、文学部とともに長きにわたって上智大学の発展を支えてこられました。私自身が所属する法学部は1957年創立で、50周年を少し過ぎたところにすぎません。100周年を迎える経済学部は、学内でも一目も二目も置かれる存在です。

先ほど理事長が経鷺会について触れられましたが、経済学部は同窓会組織も非常にしっかりしています。ソフィア経済人倶楽部は全学の同窓会組織ですが、その中核を担っているのは経済学部出身の卒業生の皆様です。経済学部の出身者が、これまで上智の発展に大いに貢献されてきたことは明らかです。

経済学部は今後とも、学内外において重要な役割を担っていかれ、経済学部独自のカラーを打ち出して、多くの学部を擁する総合大学となった上智大学の発展に貢献していただけるものと確信しております。

経済学部100年の歴史に敬意を表し、先人達の努力に感謝申し上げるとともに、今後ますますの発展を祈念いたしまして、私からの祝辞とさせていただきます。

本日は創設100周年、誠におめでとうございます。